



受市地第77号
令和6年6月26日

佐治地域振興会議
会長 小谷 繁喜 様

鳥取市長 深澤 義彦



「株式会社八芳園及び長谷収氏よりの寄附金」及び「買い物環境の
整備」に関する意見書について（回答）

令和6年3月22日付けで提出された標記意見書に対し、別紙のとおり回答し
ます。

「株式会社八芳園及び長谷収氏よりの寄附金」及び「買い物環境の整備」に関する意見書について（回答）

『佐治町地域の復興のための事業への寄附金について』

- 1 佐治地域を復興するための事業への活用。
- 2 被害調査と甚大なる被害が発生した要因を検証し記録に残すための事業への活用。
- 3 今後の災害発生時の備えに関する事業への活用（備蓄品の充実等）。

【回答】

- 1 昨年度（令和5年度）、プラザ佐治記念ホールの修繕費など、佐治地域における台風災害復旧・復興事業の決算額は、合計6億1,529万6千円（うち一般財源額9,390万円）となっており、受領した寄附金は、佐治地域の復興財源として活用させていただきました。
- 2 本年6月市議会定例会において、台風第7号災害を振り返り、後世での検証や教訓として生かすための記録史の編纂に係る補助金80万円を補正予算案として上程し、6月21日に議決となりましたので、今後は佐治町総合支所と連携しながら、年度内の完成に向けて進めていただければと思います。
- 3 本年5月に「災害に強い佐治町創り事業実行委員会」が、台風第7号災害を教訓として、災害に強いまちづくりの取組を通じて地域の活性化を図る計画を策定することを目的に、輝く中山間地域創出事業の補助金を申請され、審査会により採択されました。

来年度以降、この計画に基づき実施されるソフト事業について、補助金の交付目的に合致した場合、最大3年間、累計200万円を上限として補助金を交付することが可能になりますのでご検討ください。

なお、市が保有する備蓄品については、県及び県内市町村との連携備蓄を基本に、独自備蓄や民間企業等との流通備蓄を組み合わせ整備を進めているところです。今後も備蓄品の配備方法やその内容について、昨年の台風第7号や能登半島地震等の災害を踏まえ、県等の関係機関とともに引き続き検討してまいります。

『買い物環境の整備について』

地域内で買い物ができる環境は「必要不可欠なインフラ」との認識のもと、地域性等を配慮した買い物環境の整備に向けて必要な措置と、周辺環境の整備、及び商品配送に対する支援を検討いただきたい。

【回答】

佐治地域においては、令和4年10月にトスク佐治店が閉店し、その後、最寄りのスーパーとなったトスク用瀬店も令和5年9月に閉店となりました。トスク用瀬店については、現在も交渉が進められていると伺っており、後継事業者が決定した場合は、店舗整備や改修、設備の整備経費に対し、財政支援を行うことも検討しております。

現在は、佐治地域の買い物環境を確保するため、移動販売事業者に対しての運営支援や、共助交通による買い物ができる店舗までの運行区間の延長などに取り組んでいるところですが、今後はタブレットなどの情報端末を活用した、買い物支援等についても研究してまいります。